

# 平成26年(2014年)8月の結果 (二人以上の世帯)

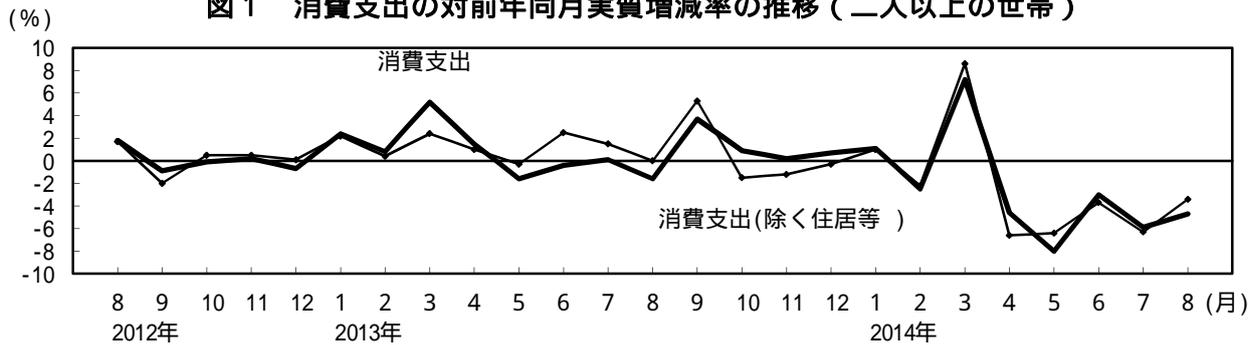
## 二人以上の世帯

・消費支出は、	1世帯当たり 282,124 円		
前年同月比	実質 4.7%の減少	前月比(季節調整値)	実質 0.3%の減少
	名目 0.9%の減少		
・消費支出(除く住居等)は、	1世帯当たり 247,555 円		
前年同月比	実質 3.4%の減少	前月比(季節調整値)	実質 2.1%の増加
	名目 0.5%の増加		
・勤労者世帯の実収入は、	1世帯当たり 463,810 円		
前年同月比	実質 5.4%の減少		
	名目 1.6%の減少		

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

## 1 消費支出の推移

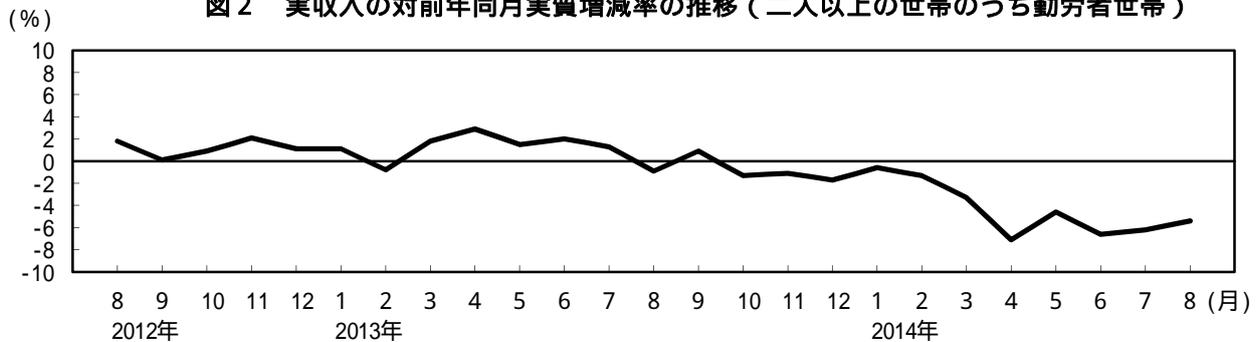
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	2013年					2014年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
消費支出	-1.6	3.7	0.9	0.2	0.7	1.1	-2.5	7.2	-4.6	-8.0	-3.0	-5.9	-4.7
消費支出(除く住居等)	0.0	5.3	-1.5	-1.2	-0.3	1.0	-2.2	8.6	-6.6	-6.4	-3.7	-6.3	-3.4

## 2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	2013年					2014年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
実収入	-0.9	0.9	-1.3	-1.1	-1.7	-0.6	-1.3	-3.3	-7.1	-4.6	-6.6	-6.2	-5.4
可処分所得	-1.4	-0.4	-1.4	-1.4	-2.1	-0.5	-1.3	-3.2	-7.0	-3.4	-8.0	-5.2	-5.2
消費支出	-0.5	3.7	-1.0	-1.6	-2.3	-0.2	-3.2	7.5	-6.9	-8.8	-4.5	-3.6	-6.0
平均消費性向*	0.8	3.5	0.3	-0.2	-0.1	0.3	-1.6	10.6	0.1	-5.4	1.9	1.2	-0.6

\*: 対前年同月ポイント差

### 3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2014年8月 - 二人以上の世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	282,124	-0.9	-4.7	-		5か月連続の実質減少
食料	72,153	2.5	-2.3	-0.56	<減少> 飲料,魚介類,外食など	5か月連続の実質減少
住居	15,507	-20.2	-21.2	-1.45	<減少> 設備修繕・維持など	2か月連続の実質減少
光熱・水道	20,327	-0.6	-6.6	-0.47	<減少> 電気代,上下水道料など	5か月連続の実質減少
家具・家事用品	10,757	-4.6	-8.8	-0.35	<減少> 家庭用耐久財,家事雑貨など	5か月連続の実質減少
被服及び履物	9,307	5.4	2.6	0.08	<増加> 洋服,和服など	5か月ぶりの実質増加
保健医療	12,375	0.5	-0.9	-0.04	<減少> 医薬品	5か月連続の実質減少
交通・通信	38,649	-0.6	-3.3	-0.45	<減少> 自動車等関係費,交通	2か月連続の実質減少
教育	6,842	-4.1	-6.3	-0.16	<減少> 授業料等,補習教育など	3か月ぶりの実質減少
教養娯楽	30,408	-2.9	-7.1	-0.78	<減少> 教養娯楽サービス,書籍・他の印刷物など	5か月連続の実質減少
その他の消費支出	65,800	1.8	(-2.1)	(-0.48)	<減少> 交際費,諸雑費など	10か月連続の実質減少
消費支出 (除く住居等)	247,555	0.5	-3.4	-		5か月連続の実質減少

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の（ ）内は、消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いて実質化した。

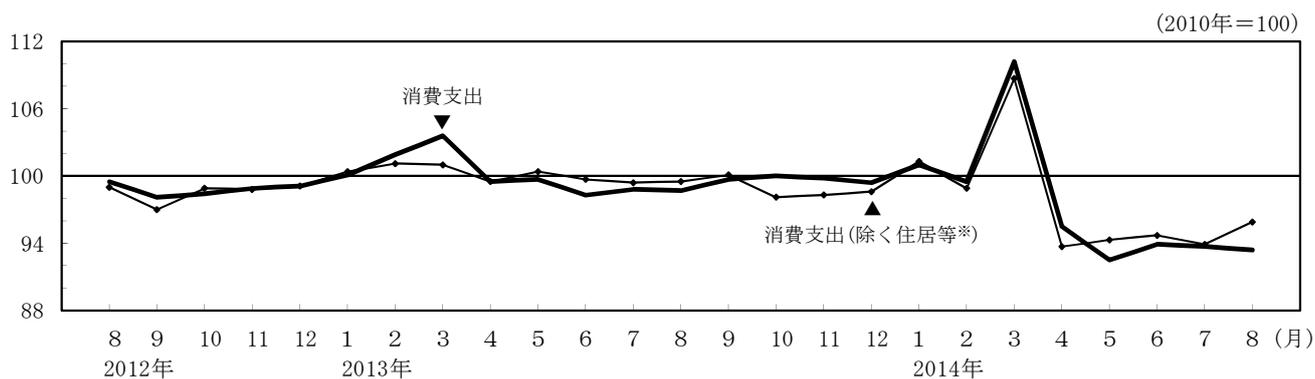
#### 消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類	実質寄与度		品目
<b>&lt;減少項目&gt;</b>			
設備修繕・維持	[-1.40]	.....	外壁・塀等工事費,設備器具
教養娯楽サービス	[-0.65]	.....	国内パック旅行費,宿泊料
交際費	[-0.38]	.....	贈与金
自動車等関係費	[-0.35]	.....	ガソリン,自動車購入
電気代	[-0.29]	.....	
家庭用耐久財	[-0.24]	.....	エアコンディショナ,炊事用ガス器具
飲料	[-0.17]	.....	果実・野菜ジュース,茶飲料
交通	[-0.15]	.....	有料道路料,タクシー代
魚介類	[-0.13]	.....	ぶり,さけ
外食	[-0.13]	.....	飲酒代,すし(外食)
<b>&lt;増加項目&gt;</b>			
洋服	[0.06]	.....	背広服,子供服

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）



	2013年					2014年							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
消費支出	98.7	99.7	100.0	99.8	99.4	101.0	99.5	110.2	95.5	92.5	93.9	93.7	93.4
対前月変化率(%)	-0.1	1.0	0.3	-0.2	-0.4	1.6	-1.5	10.8	-13.3	-3.1	1.5	-0.2	-0.3
消費支出(除く住居等*)	99.5	100.1	98.1	98.3	98.6	101.3	98.9	108.7	93.7	94.3	94.7	93.9	95.9
対前月変化率(%)	0.1	0.6	-2.0	0.2	0.3	2.7	-2.4	9.9	-13.8	0.6	0.4	-0.8	2.1

※：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

注1 季節調整の方法は、センサス局法(X-12-ARIMA)を用いた。

2 季節調整値は、毎年1月結果公表時に、過去に遡って改定している。

#### 4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2014年8月－二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備考
		名目	実質		
実収入	463,810	-1.6	-5.4	—	11か月連続の実質減少
世帯主収入	359,452	-0.9	-4.7	-3.65	6か月連続の実質減少
定期収入	344,638	-1.9	-5.7	-4.22	7か月連続の実質減少
臨時収入・賞与	14,815	28.2	23.3	0.57	
配偶者の収入	53,522	-1.8	-5.6	-0.64	13か月連続の実質減少
他の世帯員収入	7,132	-17.6	-20.8	-0.38	10か月連続の実質減少
非消費支出	80,516	-2.4	—	—	2か月連続の減少
可処分所得	383,294	-1.4	-5.2	—	13か月連続の実質減少
消費支出	305,836	-2.2	-6.0	—	5か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	79.8	(前年同月) (ポイント差) 80.4 -0.6		—	季節調整値で見ると、73.0%で、前月に比べ、2.3ポイントの低下となった。

注1 「非消費支出」とは、税金や社会保険料など、世帯の自由にならない支出である。

「可処分所得」とは、実収入から非消費支出を差し引いた額で、いわゆる手取り収入のことである。

「平均消費性向」とは、可処分所得に対する消費支出の割合である。

2 実収入には、勤め先収入(世帯主収入、配偶者の収入及び他の世帯員収入)のほか、事業・内職収入や社会保障給付などが含まれる。